

Gendai Times

現代タイムス (1989年創刊) 2025年7月 第219号



「古民家と風鈴」展示風景

『絵を描け、文を書け』

アートなお店「現代企業社」の素顔 4

第1章・大西清澄物語②

地蔵寺の時代(2)

終戦直後に復員、地蔵寺村(現土佐町)へ戻った大西清澄は、昭和22(1947)年春、結婚した。この結婚には運命のドラマがある。破談のはずが大逆転したのだ。

妻となるのは津田鮮都子。朝鮮の都、京城で生まれたことから名付けられた。清澄の2歳下。父親は本山村(現本山町)出身の久萬恵。後に、日本統治下時代の朝鮮総督府鉄道の京城駅長となる。相当な地位だったようだ。清澄の長男、映(75)が言う。「当時の京城駅長は、国鉄の中で東京駅の駅長に次ぐほどの役職で勅任官だったそうです。天皇陛下からの任命で、今の大臣みたいなもの。朝鮮時代の写真を見ると本当に貴族的な暮らして。使用人が10人以上もいたそうです」

なぜ、そんな大出世の人物が土佐の山奥から出たのか。久萬恵は明治44(1911)年、県立第一中学(現追手前高)を卒業し国鉄に入った。

お見合い、破談のはずが大逆転

「東京駅の前をほうきで掃く見習いから始まって、一番手腕を發揮したのは、鉄道のダイヤを組む仕事だったそうです。すべて手書きの時代。非常に几帳面な人で、組む能力が抜群。それで出世した、と本人が言っていました」と映。

—本当にそれだけで?

「久萬恵の結婚相手の父親が、国鉄の偉い人だったらいいんです。見どころがあるということ自分で娘と一緒にさせて、引き上げてくれたんじゃないか、と周りの人が言っていましたね」

鮮都子は戦争中に朝鮮の女学校を卒業、東京の服飾専門学校へ内地留学した。「日本で洋裁の勉強をした」と言ったら、親が『どうぞ、どうぞ』と。小遣いも困らないようにたくさんくれて、大事に育てられたそうです。だから、それをそのまま僕たちの子育てにも。すごく優しく、あれこれうるさく言われたことは一度もないんです」

終戦後、津田家は本山へ引き揚げてきた。そして、次女だった鮮都子は、隣の地蔵寺村相川にあった川井家の養女となる。鮮都子のおばの嫁ぎ先で、夫は川井楠太郎。板垣退助の県内の財産管理を任された人物で、「板垣の隠し子」という評判も

津田久萬恵(右端)一家の京城駅長時代の写真。中央が鮮都子



あった資産家だ。だが、終戦前年に死去。川井家の跡取りがないことから昭和21年11月、姪の鮮都子が養子になったのだ。

そこから運命の歯車が回る。年が明けて数カ月後、鮮都子は清澄と見合いをした。清澄が川井家の養子に入るといふ前提だった。しかし、鮮都子は悩んだ末、後日、断りを入れるため、養母とともに仲人宅へ向かった。ところが、途中の橋の上で清澄とばったり。「今から断りに行こうとしていたところですよ」とも言えず、「せっかくなか合ったのだから、

家まで来て話でもしますか」となり、やがて結ばれたのだそうだ。

清澄は、この縁談に夢を描いていた。18歳の頃から小説を書き始め、物書きで身を立てようと思っていたのだ。映は言う。「金の心配をせずに思う存分小説が書ける、と思ったみたいです」

しかし、養子生活は1週間破綻した。「居心地がものすごく悪かったみたいです。つらく当たられたんでしようかね。夫婦で川井家を出たんです。まあ、そうやって貧乏青年とお嬢様が結びついたわけですよ」

(文中敬称略)

【フリーライター・掛水雅彦】

(筆者略歴) 1983年、高知新聞入社。経済部副部長、幡多支社長、編集委員を経て2020年退職。著書に「土佐シロー20歳」「川の外科医が行く」。



現代企業社

長編ノンフィクションドキュメンタリー

ネ レウス

緑の中のレストラン

暑い暑い夏がやってきま
した！冷たい麺が食べた
くなる季節ですね。

「レストランネレウス」では
冷麺かざるうどんを
選べるフエアを始め
ました。冷麺はほう
れん草を練り込んだ
翡翠麺を使っています。
茹でると宝石のように
きれいな緑色になります。

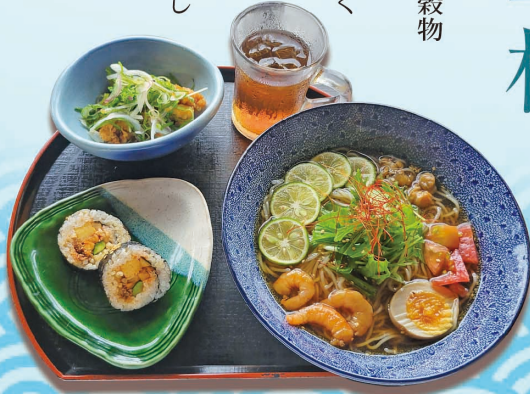


冷麺と
ユーリンチセット
1380円

穀 物学校

珈琲レストラン

夏の定番になった「穀物
学校」の韓流冷麺。
スープと一緒にいただく
あっさりした冷麺です。
美しい盛り付けが
食欲をそそります。
色々なトッピングを楽し
みながら、スープまで
飲み干したくなる美味
しさです。



韓流冷麺組合A
1480円

7月のパン



3色パン

(各)280円

レモン、マスカット、ピーチが練り
込まれた3色生地を焼き上げ、仕上
げにチョコレートをかけました。

7月のケーキ

ブルーベリー ロール



1P 390円
1本 1520円



幸せを運ぶお菓子 ポルポローネ



スペインのアンダルシ
ア地方に古くから伝わる
「ポルポローネ」。
ほおばるとホロホロと
くずれるような不思議な
食感です。食べ終わるま
でに「ポルポローネ」と
3回唱えると幸せが訪れ
るという言い伝えがある
そうです。霧山茶とフラ
ンポワーズが美味しくな
りました。贈り物にも喜
ばれそうですね。
ポルポローネ 各500円



メフィストホール コーヒー一杯で
あなたのコンサート
ホールに

スクリーンのある2階ミニ劇場、グランドピアノを備えた3階イベントスペース。
詳細についての問い合わせ先 ☎088-823-7871
高知市帯屋町2-5-23 メフィストフェレス

2025年
ゴトゴトシネマの7月上映作品

ドマーニ! 愛のことつて

デュオ 1/2のピアニスト

フィシスの波文 + 音楽メイキング映画

7月5日(土) ~ 6日(日)
7月19日(土) & 21日(月・祝)

7月5日(土)	6日(日)	19日(土)	20日(日)	21日(月・祝)
9:00 早 音	音	音	音	音
12:00 ドマーニ	フィリス	デュオ	ドマーニ	デュオ
15:00 デュオ	ドマーニ	デュオ	デュオ	ドマーニ
18:00 ドマーニ	デュオ	フィリス	ドマーニ	フィリス

■会場：喫茶メフィストフェレス2Fシアター
(高知市帯屋町2-5-23)

■入場料(1人1枚)：前売・予約 1500円、
当日 1700円、高校生以下 800円 (税別)

ブックカフェ イソップの台所
高知 蔦屋書店内 ☎088-821-6488

7/19 (土)

18:00~
19:30~

1回の演奏は30分程度です

無料BGMライブ『Jazzのタベ』
お食事を楽しみながらピアノ、ベース、フルートにヴォーカルを加えた演奏をお楽しみください。
演奏：nostalgie (ノスタルジー)
Vo.: 堤雅穂子 Fl.: 下元直美
Pf.: 渡辺 浩 B.: 中川宏治

7/20 (日)

18:00~
19:30~

1回の演奏は30分程度です

無料BGMライブ『ギタータベ』
お食事を楽しみながらクラシックギターを中心にギターとフルート、鍵盤ハーモニカなど色々な組み合わせでの演奏をお楽しみください。
演奏：「輪音」佐伯北斗(ギター)・池田葉子(ギター)・ウッドベース・フルート・鍵盤ハーモニカ

雑貨&珈琲 土佐水木
学芸高校グラウンド横 ☎088-802-5825

7/5 (土) ~ 8/31 (日)

11:00 ~ 17:00

『古民家と風鈴』
4回目となる風鈴の展示販売イベント。今年は土佐水木限定「小さなガラス工房透子」と「土佐和紙井上手漉き工房」のコラボ風鈴も。涼しげな風鈴の音色をお楽しみください。

社長のつぶやき

ジモッペイは「地域を守る」という理念のもとに、高知信用金庫が開発した高知県限定デジタル地域通貨だ。キャッシュレス決済システムは今や生活に欠かせない。使うほどに、大手企業へと利益が流れ出る算段だ。ジモッペイは、そんなお金が都会に吸い上げられるシステムに待ったをかけようという動きの一つなのだ。とは言え私もクレジットカード等を持っていて、それでも一人でも多くの人が小さな一歩を踏み出すことで何かが変わっていくことがあるのだと思う。現代企業社も理念に賛同し、導入している。ご利用のお客様には1%のジモッペイポイント還元を行っている。

「ジモッペイ」のかわいらしいコールが今日も明るく耳に響く。

津和野町立安野光雅美術館コレクション

津和野町立安野光雅美術館コレクション
「安野先生のふしぎな学校」展

Amazing School of ANNO Mitsumasa

2025年7月12日(土)~9月7日(日) 会期中無休 開催時間：9:00~17:00 (入場は17:00まで)

高知県立美術館 THE MUSEUM OF ART KOCHI

津和野町立安野光雅美術館コレクション
「安野先生のふしぎな学校」展

県立美術館ではこの夏、画家・安野光雅(1926-2020)の絵本原画など約150点を、学校の授業科目にみたくて紹介します。『かぞえてみよう』『もりのえほん』といったユーモアとふしぎにあふれた作品世界は、幅広い年代に親しみやすく、ご家族で楽しめる展覧会です。館内の「ミュージアムカフェマルク」では会期中、スペシャル・ドリンクをご用意してお待ちしています。ぜひお出かけください。



編集後記

夏もいよいよ本番。表紙写真「雑貨&珈琲 土佐水木」では、今年も風鈴の展示販売イベントを開催しています。県内作家さんの風鈴をはじめ、全国各地からいろいろな風鈴を集めました。「土佐水木」は山内一豊公の馬廻り屋敷跡(築160年)を現代企業社らしくリノベーションした空間です。風鈴の音色を聞きながら、のんびりと古民家の夏の風情をお楽しみください。

現代企業社に対するご意見、現代タイムスへのご感想などお寄せください。採用させていただいた方にお食事券を郵送させていただきます。お名前、ご住所の明記をお願いいたします。

〒780-8040
高知市神田2028
現代企業社宛

お便りコーナー

はじめてお便りを出します。現代タイムスを心待ちにしている者です。紙面の中だけで楽しめるつぶやきに次号を想像したり、ここだけで読める特別感にワクワクしています。217号に掲載されていた「シヨパン」のレトロなマッチ。店内はどんな雰囲気だったのかな、とマッチを通して景色がうかんできそうな気がします。

(松木様)

●連載記事「絵を描け、文を書け」を読んでくださったのですね。「シヨパン」は現在の「ファウスト」、現代企業社の一号店です。当時は煙草への意識も緩やかで、店ごとに工夫を凝らしたマッチを作っていました。お店のマッチを集める方も多かったそうです。時代の流れを感じますね。